結成20周年
新たな大躍進に向け出発！

動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）
電話（鉄電）千葉 2935・2939番
（公）043（222）7207番

2000.5.9 No. 5130

沖縄サミット粉砕！ 森自公政権打倒！ 石原発言弾劾！

5・28全国総決起闘争に起とう！ その1

沖縄サミットとは戦争会議だ

労働者・民衆の反撃始まる

七月の沖縄サミットが近づいている。今、沖縄県民をはじめ多くの人々の中に「これで労働者民衆の命と暮らし、平和は守れるのか？」という疑問と「これは戦争会議」という強い反対の声が広がっている。

こうした中で森首相は「わが国の国益を守るために積極的に外交に取り組む―アジアの平和創造（力による支配だ！）にむけて全力を尽くす」と公然とサミットにかけた意図を明らかにしている。

「国益」とか「国を守る」という言葉は、力＝軍事で他国―特にアジアの支配に乗り出すということと同義語である。

政府は昨年「日米新安保ガイドライン」を強行成立させ「日の丸・君が代」など戦争への道を敷き、そのレールの上を突き進もうとしているのだ。

これを許すのか、それとも阻止するのか、その一切のカギは労働者民衆の新たな闘いの発展にかかっている。展望は十分にある、これからだ。

二〇〇〇年に入り、新たな闘いは力強くはじまっている。沖縄では戦争につながる基地建設に反対し踏ん張っている、千葉でも二月七日、右翼の暴力的敵対を粉砕し、「日の丸」「君が代」反対で一，二〇〇名が市民会館をうずめた。そして今、石原都知事の自衛隊の治安出動訓練（九・三）と外国人労働者を「犯罪者」扱いする暴言に都労連傘下の労働者はもとより全国各地で激しい弾劾のたたかいが始まっている。われわれはこうした闘いの先頭で奮闘している多くの労働者と結びつき、スクラムを組み、森自公政権打倒、右翼ファシスト・石原を辞任においこもう。

沖縄現地闘争（五／十三～十五）を引き継ぎ五・二八に総力で立とう。

東京都防災訓練 防衛庁の計画概要判明
9月3日は物々しい!?
自衛隊4000人が都心に展開
車両800台
航空機50機
艦艇数隻!!

外国人労働者を「犯罪者」扱いし、治安出動訓練を（九月三日）を挙行しようとする石原都知事を辞任に追い込もう

四月九日、自衛隊練馬駐屯地で、石原知事は自衛隊にむかって「『三国人』が凶悪犯罪事件を繰り返している」という差別・排外主義をあおり、在日アジア人民や外国人への襲撃をそそのかし、九月三日、自衛隊演習を治安出動訓練として行う旨を宣言した。

アジア、外国人労働者襲撃をあおる石原！必ず辞任に追いこもう

軍服の自衛官が四千人出動し、銀座の目抜き通りを完全封鎖し、開通前の都営大江戸線を使い、兵員輸送するというのである。しかも、これに都庁職員や東交など都労連労働者も、強制動員するというのだ。

この超ド級の治安―戦争訓練を断じてやらせてはならない。

今、日本には、多くのアジア―外国人労働者が生活している。この人たちは故国の家族を支えるために日本に来て、劣悪で苛酷な労働に従事している「移民労働者」である。こうしたことを生み出している最大の原因は日本の企業が大手から下請け、孫請けに至るまで生産工程を丸ごと移すという経済侵略をアジアで大々的に進めてきたからである。

日本企業の進出でその国の経済、農業等々がことごとく破壊され、膨大な失業者を生み出し、働き口のない人々が結局日本に働きにいく以外になかったのだ。日本（資本）が彼らを追いやっておきながら、日本では「労働監獄」ともいうべき状況に置きながら、必死で生き抜こうとする彼らをこともあろうに都知事が「不法入国者」「三国人」という最大級の暴言をもって治安弾圧の対象にしたのである。

われわれは、日本の労働者としてその責任にかけてこの暴言を弾劾し、石原を辞任に追込み、アジア人労働者、在日アジア民衆との真の連帯をつくりあげなければならない。

戦争は労働者を自ら犠牲に追いこみ、何の罪もない他国労働者の虐殺を強制する。「二度と誤ちを繰り返さない」ために今こそ反戦闘争を水路にたたかう労働運動の力強い再生を勝ち取ろう。

五・二八全支部から総力結集しよう。